

東洋学園大学ことばを考える会

2015 シンポジウム 「越境」

11月30日(月) 16:20~18:20 東洋学園大学 本郷校舎

シンポジスト① グローバル・コミュニケーション学部兼任講師 阿南大先生

中国化するオーストリア、オーストリア化する日本ー越境する近世と近代ー

近代オーストリア君主国の国制思想は中国近世の宋学の影響下に形成され、明治憲法の手本となった？
日本史研究者與那覇潤氏の提唱する「中国化」というキーワードを軸に、「近世」と「近代」の東西越境を概観する。

シンポジスト② 現代経営学部教授 田中巖先生

越境の先にあるものは？：経済学的示唆のいくつか

国境を越えていくものにはヒト、モノ、カネ、情報とある。経済学ではそれを移民や国際貿易、海外投資などの観点から分析を行っている。これまで世界の研究者たちにより様々な成果が得られているが、受け入れ側ではどのようなことが起きているのか、それは移動する前に期待されていたことと整合的なものであるのかという問題意識を持って、移民と企業の海外進出の場合に焦点を当て考察する。

シンポジスト③ グローバル・コミュニケーション学部専任講師 依田悠介先生

Linguistic Theory: What is it? What should it be?

The term "Linguistics" has long been used to refer the study of "Languages". However, the idea has been changing and we now regard "Linguistics" as a science of human cognition.

In this talk, I will provide brief introduction of current Linguistic researches and explain what we really want to investigate and, moreover, provide a new look of "Languages" from 21st century theoretical and biological linguistic perspective.

シンポジスト④ 人間科学部専任講師 有木永子先生

越境ー心理臨床における取り扱い

私たち心理臨床家がクライアントとお会いする際には、治療構造という枠組みを重視します。しかしその枠が破られることがあります。今回はこれを「越境」と考え、その意味と治療的活用のあり方を検討します。

- 4人のシンポジストによる授業とはちょっと違った専門分野のプレゼンコラボです。
- 学生、教職員どなたでも参加できます。ふるってご参加ください。